

# とう こちら奈良市東部出張所です12月 No.98

目次：P1 東部出張所のお知らせ P2 自分ごと化会議・アンケート報告・マルシェ案内 P3 地域おこし協力隊 畑隊員 P4 地域おこし協力隊 森川隊員  
編集・発行 【毎月1日発行】奈良市 東部出張所（奈良市大柳生町4735） TEL:0742-93-0001 FAX:0742-93-0061 E-mail:toububr@city.nara.lg.jp



師走の候、地域の皆様におかれましては、日ごと寒さが厳しくなる時節柄、お変わりなくお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

12月はクリスマスや新年の準備で慌ただしくなる季節ですが、古都奈良では、約900年の歴史を持つ「春日若宮おん祭」が厳かに執り行われます。私たちもこの伝統行事にならない、一年を静かに締めくくり、来たる年への準備を進めてまいります。

本年も、東部地域の皆様には、当出張所の業務運営をはじめ、地域活動の推進に格別なるご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

年の瀬を迎え、皆様には何かとご多忙な時期かと存じますが、年末年始の業務体制についてご案内いたします。

東部出張所の窓口・電話受付業務は、以下のお知らせに記載している期間につきまして、休止させていただきます。ご不便をおかけしますが、早めの手続きにご協力をお願いいたします。

寒さ厳しき折、皆様くれぐれもお身体を大切にしながら、ご家族お揃いで健やかなる新年を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

来る年も、東部出張所は地域の皆様にとってより身近で信頼できる存在となるよう、職員一同努めてまいります。引き続き、変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

東部出張所長 野口

## 東部出張所からのお知らせ

### 〇年末年始の休業日について

右記の期間、窓口業務をお休みさせていただきます。大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 休業期間

令和7年 12月27日(土) から令和8年1月4日(日)まで  
・年始は令和8年1月5日(月) 9時から開所します

### 〇熊の出没について

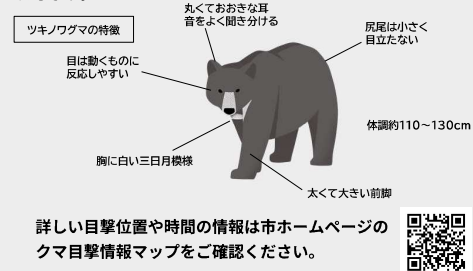
10月から11月にかけて、周辺の自治体でツキノワグマと思われる目撃情報が複数寄せられています。東部地域でも目撃情報が寄せられていますので、万一の遭遇に備えて十分な注意をお願いします。

#### ごみの出し方について

夜間にごみを出すすと匂いに誘因され出沒リスクが高まります。生ごみのおいがなるべく周囲に漏れないように、袋の口をきちんと縛り、収集日当日の朝7時半までに出すようにお願いします。また、廃棄した果物や野菜なども屋外に放置しないようにお願いします。

#### 情報提供のお願い

外出の際は安全確保に十分にご注意いただくとともに、ツキノワグマの特徴に当てはまる動物を目撃された場合は、可能な限り写真や動画を撮影し、奈良市農政課まで情報提供をお願いいたします。



## 自分ごと化会議のお知らせ

### 第1回 自分ごと化会議を東里地区で開催しました

#### テーマ

みんなで描く、東里の2050  
ー東里の今を知り、将来をスケッチしようー

11/15（土）に第1回目の「自分ごと化会議」を東里地域ふれあい会館で開催しました。前半では、参加者の皆さまによる自己紹介を行ったあと、東里地区の現状や課題などについて説明しました。後半では、複数のグループを作り、東里地区の将来や理想の姿について意見を交わしました。会議中は参加者の皆さまによる熱心な議論が行われていました。



会議の様子

#### 〇第2回自分ごと化会議について

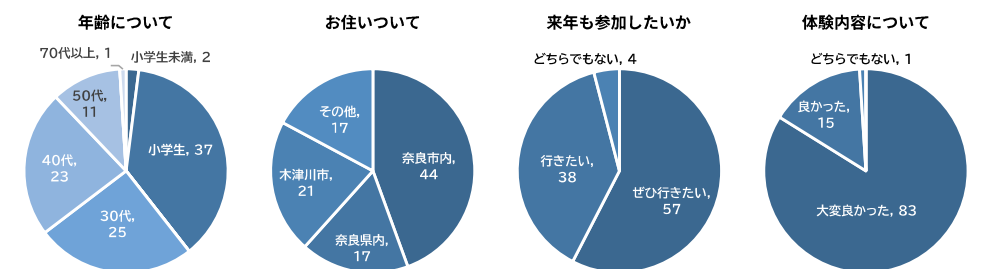
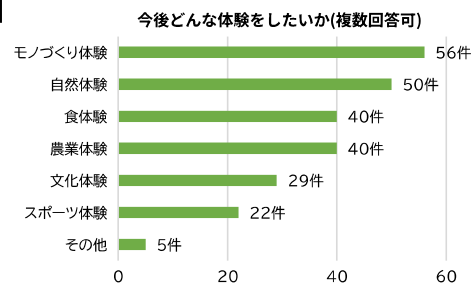
第1回目の議論をもとに、右記の内容で第2回の会議を開催します。傍聴可能ですので皆さまのお越しをお待ちしております。（事前申し込み不要）。※傍聴が多数の場合はお断りさせて頂く場合がございます。また、傍聴者の発言等は控えていただきますよう、お願いします。

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 日 時   | 12/13（土） 9:30～12:30(受付 9:00) |
| 場 所   | 東里地域ふれあい会館（奈良市須川町776）        |
| 内 容   | 2050年の東里地区の姿について議論予定         |
| 問い合わせ | 東部出張所振興係 TEL：93-0001         |

## 奈良さとやまSUMMERキャンペーン

### 参加者アンケート内容のご案内

7月19日から8月31日まで開催した「奈良さとやまSUMMERキャンペーン2025」では、奈良市内だけでなく、近隣地域から800人をこえる方にご参加いただきました。キャンペーン期間中、参加者の方にアンケートのご協力をいただきましたので、内容をご案内します。（回答数：99件）アンケート結果をもとに、来年のさとやま体験事業の内容を検討してまいります。



## Tobu高原マルシェ2025 in 北部会館

東部地域の農産物直売所が、市街地で地場産野菜等を出張販売する「Tobu高原マルシェ」を北部会館にて開催します。市街地にお住まいの方へ、東部地域の産品の魅力を発信します。お近くへ行かれる際はぜひお立ち寄りください。

#### 場所

北部会館1F（奈良市右京一丁目1番地の4）

#### 日にち

- ①12/11(木) つげの畑高原屋
- ②12/12(金) 月ヶ瀬温泉ふれあい市場
- ③12/19(金) 阪原直売所コスモス
- ④1/16(金) 田原やま里市場
- ⑤1/23(金) 湖畔の里つきがせ

※各回10:00～12:00ごろまで（売り切れ次第終了）



# す・とうぶだより 12月

令和7年  
(2025年)

過去の誌面



## 畑 隊員

### 退任のご挨拶

この度、一身上の都合により、12月末をもちまして地域おこし協力隊を退任させていただくことになりました。短い間でしたが、地域の皆さまのおかげで活動することができました。心より感謝申し上げます。

この地で皆さまとお付き合いさせていただく中で、たくさんの貴重なご縁をいただきました。これから、このご縁を大切にしながら繋がりを持ち続けられたら嬉しいです。

大変お世話になりました。本当に有難うございました。(畑やすよ gratefuldays8@gmail.com)



### 10/25 地域のふれあい、つながりを大切に！

【第1回 狭川ふれあいわくわくフェア】に地域の方々が集いました。カラオケ大会にお笑い動画鑑賞、そしてドキドキの高級グルメ大抽選会!! ㊤ 高級鰻やら国産松茸やら… ㊤

皆さんにわくわくしていただくという企画者の思いが随所に伝わってきたイベントでした ㊤

次回も楽しみですね ㊤



### 11/15 大エンターテイメント！

【第3回 大柳生おたのしみフェスタ】

体操、ゲーム、豪華なお弁当！認知症対策の講義や、グループに分かれて防災や農業、趣味など輪になってグルーptーク。大トリは、地元の歌姫オンステージ!!

認知症防止にも大切なコミュニケーション。なってしまうと安心して過ごせる地域を目指して、SOSは遠慮なく東部包括支援センターへ！とのことでした ㊤



準備体操担当は  
元地域おこし協力隊の寺尾さん！  
お馴染みのしかまろくんTシャツ&  
ボシエットとともに

地域のレポートや詳細は「地域おこし協力隊」  
Facebook・Instagramにて。



Facebook



Instagram

日本茶・抹茶バイヤーさんと出会いました。ヨーロッパへ販路を広げたい方、お繋ぎします。耕作放棄地をチームで抹茶にしたいですよー！  
何人か集まればできそう！？抹茶に適した品種があるとか？ ㊤ 山のお手入れ、売買にご興味ある方も。問い合わせ：gratefuldays8@gmail.com(はた)まで。



### 11/16 ナチュラル・ファーム福井さん率いる 【第5回 田原cha茶chaカーニバル】

お茶づくしの一日 ㊤ とても良いお天気でした ㊤  
朝一からイベントへいらっしゃるお客様で渋滞?! 離れた駐車場もすぐに満車に。生産者さんとお客様の距離がグッと縮まるイベントとなりました。年々増えてゆくお客様と、出店者さんたちがもう次回を楽しみにしているのが印象的でした ㊤

組み立て式茶室「若竹庵」で  
お抹茶をたてていたのは  
元地域おこし協力隊の若井さん！



## 森川 隊員

朝晩は冷え込むものの、山は秋色に染まりその美しさを有難く感じる毎日です。さて、今年の6月から参加している柳生公民館の俳句の会、「柳生句会」。1か月に1回の句会が今の私にとって大変豊かな学びの場となっています。一度、全く句が作れずに参加したときのこと。参加されている先輩方から作句のご助言を頂きました。「焦点を一点に絞ること」「日々の感動を書き留めておくこと」「読み手に想像させること」刻々と移り変わる自然、旬の食べ物、幼い息子達との時間、亡き人達の記憶など、心感じるまま俳句にできたら…。喜びも哀しみもかけがえのない「生」として残したい、という思いで作句する日々です。



### 戦争の記憶を語り継ぐ

前回のす・とうぶだよりでご紹介した、柳生地区で終戦を迎えられた戦没者ご遺族であるAさん。お父様が中国戦線に出征され、家業を切り盛りしていたお祖父様が孫であるAさんを愛情深く育てられました。毎晩お祖父様の胡坐の上で読んでもらった絵本は「宝物」だとAさんは言います。

しかし、お祖父様は戦争終結直前の昭和20年8月4日に逝去されます。米や酒、魚さえも不足する時世、葬儀を執り行うための食料確保が大きな問題となりました。

窮状を救ったのは、お祖父様の工場で働いていた方でした。夜中にAさんのお母様と共に闇米を肩に担いで運び入れてくださったそうです。水車で「コットンコットン」と精米するのをAさんは盗まれないよう夜を徹して見張っていたと言います。

知り合いの多かったお祖父様のお通夜には、たくさんの方々が参列しました。Aさんのお母様は親戚の方々に手伝ってもらいながら、梅干入りのごま塩おむすび2個を竹の皮に包んで渡されました。しかしそこには知らない人も来ていたそうです。翌日のお葬式にも、見知らぬ人々が参列しています。地域の中で話が広まっていたなのでしょう。それはおむすびを目当てに集まった人々の姿でした。香典袋の中にお金はなく、新聞の切れ端が入っているものも沢山あったと言います。葬儀のために用意された米1俵(60kg)は、四十九日までにすべて底をついたそうです。

食に困窮する人々の姿、戦時下の悲惨な現実が、この葬儀の様子から浮かび上がります。(次回に続く)

### 12月の活動予定 (11/19現在)

- ・ SNS配信
- ・ 自分ごと化会議の準備
- ・ 地域の集まる場の企画 など